

訓練概要

訓練形式

図上訓練

目的

災害発生初動期（発災直後～数時間まで）における災害対策本部員（担当者も含む。）と防災関係機関が連携して行うべき状況判断や役割・行動を模擬的に体験することで、参加者の災害対応能力並びに各部局と関係機関との情報共有や連絡調整能力の強化を図り、本市の災害対応力の向上につなげることを目指す。

実施日時

令和元年11月15日（金曜日）9時15分～12時00分

実施場所

宝塚市役所3階 大会議室

企画・運営、進行

一般社団法人ADI災害研究所

参加機関

陸上自衛隊第36普通科連隊、兵庫県宝塚警察署、宝塚市民生・児童委員連合会、宝塚市消防団
大分市、松江市（災害時相互応援協定締結市、電話による応援要請訓練）

災害想定

11月15日午前09時00分、宝塚市内で大きな揺れを観測。震源 宝塚市役所直下 深さ約16キロメートル、最大震度6強（激震）を記録、地震の規模 M6.9、伏在断層を震源とする直下型の地震とみられる。市内全域に被害が発生しているが、市庁舎、設備、職員には、甚大な被害がなく、午前09時00分に災害対策本部が自動設置、午前09時30分に災害対策本部会議が開催された。

訓練検証

室崎 益輝 教授（宝塚市政策アドバイザー、兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長）

訓練写真

訓練の様子	シェイクアウト訓練 
各部局ごとにおいて与えられた状況付与に対し、対処法を考える	   
災害対策本部会議	
室崎益輝教授による訓練講評	

シェイクアウト訓練

同日午前09時30分から、市内で震度6強の地震が発生した想定で、市内一斉にシェイクアウト訓練（地震発生時の安全行動訓練）を実施します。市では、すみれ防災スピーカー、コスモキャスト（防災放送アプリ）、防災ラジオを自動起動し、シェイクアウト訓練の参加を呼びかけを実施。